

平成24年第4回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成24年7月3日～7月6日)

1 坂本心次（顕政会）

1 めくもりのある地域の経済循環について

(1) 国際競争力を高め、よい経済循環をつくる必要があるが、市長の考えは。

ア スーパーバルクターミナルは今後どう進んでいくのか。

イ 青少年の海外派遣制度を充実し、海外進出者への支援や帰国学生の受け入れ体制を構築する必要があるのではないかと。

(2) 心待ちにしている中山間部の経済循環はどうなるのか。

ア 地域の歴史・伝統・文化を守ることが経済循環につながるようになるのではないかと。

2 兼重 元（新誠会）

1 コンプライアンス条例の制定について問う

(1) 平成24年3月23日付「周南市防災行政無線施設整備工事に関する市の責任と今後の改善について」の報告書からコンプライアンス条例の制定について問う。この報告書から、本市はこれまで「周南市職員公益通報に関する取扱要綱」を定めて、コンプライアンスの確保に努めてきたが、今回の事件では、結果としてこれが活用されなかったとしている。これが市政に対する信頼を損ねることになったわけで、今後はこの事件を教訓に、市政運営の公正の確保と透明性の向上に努めるため、条例制定の必要性を含めコンプライアンス推進体制の確立を図っていくことだと言及している。そこで以下について問う。

ア コンプライアンス条例を必要とする背景は。

(ア) 教訓とする防災行政無線施設整備工事問題とは一体何だったのか。

(イ) 要綱はなぜ活用されなかったのか。

(ウ) これまで本市では公正な職務の執行にどう努めてきたのか。

イ コンプライアンス条例の概要は。

(ア) コンプライアンスとは。

(イ) コンプライアンス条例の必要性は。

ウ 本市で制定しようとするコンプライアンス条例の内容は。

エ 条例制定の手續と体制はどうするのか。

オ コンプライアンス体制の推進組織をどう整備するのか。

3 土屋晴巳（新誠会）

1 介護保険法に基づく指導・監査体制について

(1) 本年4月から福祉部高齢者支援課に指導・監査担当が配置された。期待するところであるが、指導・監査の実施に向けた本市の考えを問う。

ア 指導・監査実施の目的と背景は。

イ 対象サービス事業所とその数は。

ウ 主な指導・監査の対象となる事案・内容は。

エ 担当者には専門的知識が求められるが、育成・研修についての考えは。

2 公立幼稚園、保育所等の今後のあり方について

- (1) 「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」に将来の方向性がまとめられているが、この2年間の取り組みと進捗状況は。
- (2) 都市地域の幼稚園については「施設の統合等による集約」を目指すのであれば、耐震化整備までに一定の成果を出すべきではないか。
- (3) 公立幼稚園・保育所の民営化・施設集約という方向性と行財政改革の推進との関連性についての考えは。

4 尾崎隆則（顕政会）

1 都市計画税について

- (1) 市長に就任した昨年8月に熊毛地区の用途地域に都市計画税を賦課することが議員全員協議会で発表された。このたびの議会改選が行われた矢先に、改正条例案を提出されたが、急ぐ理由は何か。
- (2) 対象地域への線引き拡大図面を情報提供しないまま、条例制定するのか。
- (3) 合併した市町村で都市計画税を廃止し、新たな税で市域全体の基盤整備に取り組んでいる自治体がある。市民が一番希望しているのは、普段の生活に密着した基盤整備である。公平公正なまちづくりを進めていくのであれば、この機会に周南市全域の見直しを考えるべきだと思うがどうか。

2 上水道の整備について

- (1) 今年度から熊毛地区に待望の上水道が整備される。平成27年度から一部において供用開始と聞いているが、事業は順調に進んでいるのか。
 - ア 光市との協議の進捗状況は。
 - イ 住民への説明は。
 - ウ 企業誘致の考えは。
 - エ 水道料金はどのようになるのか。

3 交通弱者対策について

- (1) 75歳以上の高齢者が自家用自動車の免許更新時に言われていることは、免許証の返納である。バス路線のない地域や過疎地域に居住されている方は、80歳になろうが90歳になろうが、自分で運転ができるまでは交通手段として免許証は手放せない。道路運送法の改正で、自治体や地域の自治会でも運送の許可が可能となったと聞いたが、手続は簡単にできるのか。市として支援できないのか。

5 福田健吾（顕政会）

1 市長の考え方を問う

- (1) 具体的な周南市の像をもっと示すべきと考える。個々についてではなく、周南市の未来像についてどう考えてどういう施策を行っていかようとしているのか。
 - ア 短期的な戦略は。
 - イ 中・長期的な戦略は。
- (2) さまざまな計画を市は策定しているが、その計画の具体策を示すべきものの一つに周南市まちづくり総合計画後期基本計画がある。

- ア 緊急プロジェクトについて具体策を持っているのか。総合計画は年次を限っているの
で具体案がなければ画餅になるがいかがか。
- (3) 市の財政の考え方について問う。
- ア 臨時財政対策債が増加しているが見解を問う。
- イ 「補助金があるから行う」という施策はあるか。本当に必要性を重視しているのか。
- ウ 行政財産の売却についての見解を問う。
- (4) 少子化に対しての考え方を問う。
- ア 基本的考え方とその対策における予算規模は。
- イ 子育て環境の充実についていかに考えているか。
- (5) 安心安全について問う。
- ア 避難所や避難経路の安全性は確立されているか。
- イ 緊急車両の進入困難な道路についての方針は。
- (6) コミュニティのあり方について問う。
- ア 従来の取り組みからどう進化させていこうと考えているのか。
- イ 各地域コミュニティは市長直轄にしていくべきと思うがいかがか。

6 長嶺敏昭（参輝会）

1 コンベンションシティ推進について

- (1) 3月以降の取り組みと成果について問う。
- ア 過去の周南市でのコンベンションの実績の把握から受け入れ人数、経済効果などの年
次目標値を定めるべきだが、どうか。
- イ 市内の「コンベンションシティ推進本部」は機能する体制か。具体的な進め方は。
- ウ 「オール周南」で取り組むなら、まず職員への意識の醸成が必要だが、どうか。
- エ 関係団体、企業への協力要請は。
- オ ふるさと大志を初めとする市外在住の著名人などへの働きかけは。期待はできるか。
- カ 市長の役割は。
- (2) 周南市独自の挑戦的施策が必要ではないか。
- ア コンベンション誘致補助金制度は有効か。さらなる優遇策や緩和策が必要ではないか。
- イ コンベンションの誘致、情報の提供者にも市民・職員を問わず何らかのインセンティ
ブの付与を考えてはどうか。
- ウ 誘致そのものとおもてなし・物販などとコンベンション協会、コンベンションビュー
ローはどのように機能するイメージなのか。
- エ 既存の施設で具現化するとの方針では新駅ビルを設置した場合においてもコンベンシ
ョンシティに資する施設は考えないということか。
- オ 観光交流課をリード、サポートする外部からのプロデューサー（担当副市長）の設置
の考えはないか。
- カ 「（仮称）コンベンションシティ推進条例」の制定については前向きに検討されたか。
さまざまな形態がある。市民参画のもとで制定を目指せ。

2 徳山動物園リニューアルとコンベンションシティについて

- (1) 町なか動物園の徳山動物園はアフターコンベンションとしてだけでなくコンベンション

- シティー推進の中核に位置づけ、リニューアルのスピードアップを図るべきではないか。
- (2) 約50億円かかる事業だが、博物館的ではあっても行財政改革の一環として黒字化を目指すべき施設ではないか。
 - (3) リニューアルを機に動物園予算を企業会計化し、経営状況が目に見えるようにしていく考えはないか。
 - (4) リニューアル中だが、シロクマ、ゾウ、キリンとシンボリックな動物の死亡が相次いでいる。「周南市ぞうさんの夢基金」のほかに、入場者減に歯どめをかけるための展示動物への緊急な経営戦略が必要ではないか。

3 市民の安心安全と携帯電話について

- (1) 市内での携帯電話の不通地域の把握はできているか。各電話会社の周南市地域における今後の整備計画の把握はできているのか。
- (2) 現代社会では市民生活の利便性だけでなく、災害や事故発生時の迅速な通報など市民の安心安全のかなめの一つは携帯電話の不通地域の解消ではないか。特に中山間地域において対策を講じてほしいが、市としての取り組みはどうか。

7 伴 凱友（周南会）

1 熊毛地区への都市計画税賦課について

- (1) 熊毛地区の出前講座で、熊毛地区への課税について、1、熊毛地区への課税は合併協議で決まっている。2、公平性負担の観点から熊毛地区に課税する。3、熊毛地区の都市計画事業で借金がかさんでいる。その支払いのために課税する。以上の3つの理由を挙げているが、そのとおりなのか。
- (2) 財務部配付の資料について
 - ア 出前講座で財務部が配付した資料「熊毛地区における都市計画税の賦課について」に書かれている「熊毛地区においては、区域区分が定められた場合について課税されることとする」という文言は合併協議書のどこにもない。正しく住民に伝えるべきではないのか。
 - イ 非線引き区域とされた都市計画法改正は資料には16年と記載があるが、平成13年ではないのか。
- (3) 原則として市街化区域に課税されるものであるが、原則を逸脱しても課税する理由は何か。
- (4) 申告納税制度もある我が国では、税金は住民が納得して支払うものではないのか。

2 伊方原発の再稼働について

- (1) 築後34年が経過し、現在点検中の伊方原発の再稼働について、周南市で何らかの行動を起こす考えはないか。

8 相本政利（公明党）

1 空き家問題の取り組みについて

- (1) 住民不在の空き家において、地震・台風等の自然災害による倒壊や放火等の防犯を含めた地域の安全確保について伺う。
 - ア 周南市における空き家の状況は。

- イ 市民からの苦情や相談及びその対応状況は。
- ウ 空き家を適正管理する条例（助成制度を含めた）を定める計画はあるのか。

2 若者雇用対策の取り組みについて

- (1) 施政方針の「産業活性化・活力創造プロジェクト」の項から、特に若者雇用対策や若者の就業の場確保について伺う。
 - ア 周南コンビナート活性化推進懇談会の開催状況とその成果は。
 - イ 石油コンビナートの施策を担う経済産業省化学課への職員派遣の状況は。
 - ウ 中小企業への融資制度等の支援状況は。

3 周南市の生活交通の取り組みについて

- (1) 高齢化が進む交通不便地域における生活交通システムの検討状況について伺う。
 - ア 鹿野地域への導入経緯とその後の状況は。
 - イ 和田地域あったか便の実証実験の経緯と結果は。
- (2) 熊毛地域及び給島・大島地域における生活交通システム導入の検討状況について伺う。
 - ア 同上2地域の交通システム導入のアウトラインは。
 - イ 利便性や利用促進が図れる交通システム（乗り合いタクシーを含めた）を検討しているか。

9 金子優子（公明党）

1 子育て支援について

- (1) 幼保一体化への取り組みについて
 - ア 待機児童の現状について伺う。
 - イ 幼保一体化への取り組みの状況は。
- (2) 小中学校の校庭の遊具等の安全対策と故障などによる修理の対応は、どのようになっているのか。
- (3) 西部地区の子供の遊び場として新たな公園施設等の整備予定があるのか。
- (4) 児童の健康管理について
 - ア 小中学校における健康診断の内容を伺う。
 - イ 脊柱側弯症について
 - (ア) 過去に健康診断の実施はあったか。
 - (イ) 学校検診への検査の導入の取り組みはあるのか。

10 田村隆嘉（刷新クラブ）

1 次の世代のためのまちづくりについて

- (1) 放課後児童クラブについて
 - ア 放課後児童クラブの利用状況は。
 - イ 指導員一人当たりの児童数は。
 - ウ 利用者、利用希望者の要望調査の予定は。
- (2) 放課後子ども教室について
 - ア 新規設置への取り組みは。
 - イ コーディネーターの配置状況と今後の配置予定は。

ウ 地域の指導者不足への対策は。

エ 児童クラブとの一体的な実施のための取り組みは。

2 住みやすいまち、住み続けたいと思うまちづくりについて

(1) 平成22年3月に策定された「周南市生活交通活性化計画」の進捗状況について

ア 平成23年度の路線バス・乗り合いタクシーの利用者数は。

イ 路線バス利用促進のための取り組み状況は。

ウ 新たな交通システムの導入検討は。

エ アンケート等による実態調査の予定は。

1 1 金井光男（公明党）

1 通級指導教室について

(1) 徳山小、富田東小、勝間小のそれぞれの現状と今後の課題は。

(2) 県内では岩国市と本市のみ中学に設置がないが、その必要性の認識は。

2 鳥獣被害防止対策について

(1) 鳥獣被害防止特別措置法に基づく「周南市鳥獣被害防止計画」の進捗状況を伺う。

ア 被害防護さくの普及促進

イ 狩猟・わな免許等の取得促進（担い手の育成）

ウ 捕獲機材の導入整備

エ 処理加工施設の整備など、肉等地域資源として活用の促進

(2) 捕獲実施区域以外での被害状況の掌握・対策は行われているか。

(3) 「わな」による有害鳥獣捕獲の補助者になることができる「わな特区」が全国展開された。本市の狩猟者だけに頼らない地域ぐるみの捕獲対策の取り組みについて伺う。

3 地域維持型契約方式について

(1) 災害対応や道路・橋梁等インフラの維持管理などを対象とした地域維持型契約方式の導入について本市の基本的スタンスを伺う。

1 2 小林雄二（刷新クラブ）

1 行財政改革について

(1) 「施策評価」を活用した事務事業の見直しがいわれているが、どういった成果が今日まで上がっているか。

(2) 公共施設の適正配置及び廃止・休止・統合の取り組みが求められているが、対象となる施設はどの程度で、方針決定に当たり、どこがリードし、調整を行っていくのか。

(3) 市民サービス向上の観点からの職員配置は重要である。職員適正化計画の目標と根拠は何か。

2 庁舎建設について

(1) 耐震性及びバリアフリーの視点からも建てかえは課題であるが、市民に必要性についての程度理解されていると認識しているか。

(2) 「市民参画で基本的な考え方及び設計指針をまとめる」とあるが、白紙の状態での議論に入っていくのか。

3 学校給食センターについて

- (1) 周南市学校給食センター建設基本計画（平成20年7月）は、その方針が生きているのか。もし、修正があるとすればどういうところか。
 - (2) 学校再配置との整合性からの今後の検討方針はどうか。
-

1 3 岩田淳司（アクティブ）

1 新庁舎建設計画について

- (1) このたび市民参画による新庁舎建設検討委員会も発足するが、今後のスケジュールなども踏まえ以下を問う。
 - ア 現段階でのスケジュールの進捗状況と今後の予定を確認したい。計画どおり進んでいるのか。
 - イ この計画とこのたび立ち上がった行政改革推進室とのハード面整備などの協働はあるのか。あるのならば、それはいつからどこでどのように機能してくるのか。
 - ウ これまでは計画に対する市民参画がいま一つ見えてこない。計画を進めるべきと考えるのであれば、しゅうなん出前トークのメニューなどにも取り入れるなどいろいろと工夫をして、もっと早くから多くの市民に計画の必要性を訴え、理解を得ていかなければいけないのではないか。

2 少子高齢化に対する施策について

- (1) 今後地方が自立発展するためには国や県の政策に頼るだけでなく、周南市単独でもできる施策を展開する必要がある。そこで我が市の少子高齢化に対する施策を問う。
 - ア 現在の周南市の少子化率・高齢化率は他自治体と比べどうか。また、その施策として我が市では具体的にはどのような施策を展開しているか。
 - イ お年寄りの孤立化を防ぎ、同時に仕事・子育てに忙しいヤングカップル世代にゆとりを与え、子だくさんになるよう三世同居などに対する補助を行ってはどうか。
-

1 4 青木義雄（参輝会）

1 市長のリーダーシップについて

- (1) 市長は就任されて行財政改革に強固に取り組む姿勢を明確にされたが、実際には行財政改革は以前から継続的に推進されている。木村市長による行財政改革の推進は、何がどのように進化したのか。
- (2) 行財政改革はどこの自治体でも必須であり、継続的かつ体系的に進めていかななくてはならないが、限界もあるのではないか。究極の行財政改革は合併ではないか。下松市・光市との合併は将来的な重要課題であるが、どのような認識か。
- (3) 将来の布石の一つとして、またコンベンションシティの超目玉として3市で協力して参加者1万人規模を目標とするフルマラソン（42.195キロメートル）の実施を提案する。市長のリーダーシップを期待したいが、どう考えるか。

2 櫛浜支所・公民館建てかえについて

- (1) 櫛浜支所・公民館の建てかえについての展望と全体的なスケジュールを問う。

3 （仮称）学び・交流プラザの図書館について

- (1) （仮称）学び・交流プラザの図書館設置について関係者から再度陳情が提出された。基本的な考え方を問う。

- ア これからの時代の公共図書館とはどうあるべきか。そのためにはどのような図書館を整備していく必要があるのか。基本方針を問う。
- イ 何度も陳情が出されているが、今後何十年と長期に利用される施設であり、可能な限り地域に必要な施設としてつくり上げていくことが大切ではないか。5,435人の市民の署名をどう受けとめるのか。
- ウ 5月にオープンした下松市の交流拠点施設「ほしらんど くだまつ」を視察した。使用目的が異なる事務所の完全独立分離については考えさせられた。一方、現在示されている(仮称)学び・交流プラザの計画(案)では、利用者の目線に沿ったものではなく、中途半端なものに着地している危惧を感じるが、どのように考えているか。

15 古谷幸男（顕政会）

1 ごみ対策について

- (1) クリーンリーダーの負担は増していないか。
- (2) それぞれの地域での分別状況など把握はできているか。
- (3) 分別をもっと詳しく書いたものが必要ではないか。また、さまざまな問い合わせなどのためにフリーダイヤルは創設できないか。
- (4) 袋の大きさについては現状のままでよいと考えているか。(ひとり暮らしや高齢者家庭のために)

2 リサイクルプラザの現状と今後について

- (1) 火災事故の改修工事の進捗状況及び改善点の検証について問う。
- (2) 今後の運営方針と委託業務について市の方針を問う。

16 井本義朗（アクティブ）

1 通学路の安全性について

- (1) 京都府亀岡市で集団登校中の児童10人が死傷する事故が発生した。その後、全国的に通学路の安全性について再点検をする動きがあるが、本市の現状と対策について問う。

ア 近年の児童・生徒が巻き込まれる交通事故の発生件数、またその状況は。

イ 本市の通学危険箇所は何カ所あるか。

ウ 今回の事件のように道幅が狭く交通量の多い「抜け道」になっている箇所は確認しているか。

エ これらに対して本市の現状の対応状況は。

オ 学校からの改善依頼で危険性が指摘されいながらハード面の改善がされていない箇所はあるか。

カ 現在「見守り隊」の組織率はどのくらいか。

キ 今回の事故を受けて教育委員会、学校関係者、道路管理者、警察などで連絡会議を組織し、通学路の安全確保について再点検し、的確な現状把握と改善策を検討していくべきではないか。
- (2) 交通だけではなく、豪雨など災害時の通学路の安全性も十分に注意が払われなければならない。

ア 増水時の水路などの危険箇所の把握と対策は十分に行われているか。

17 友田秀明（周南会）

1 野村一丁目7号線と野村開作西地区緩衝緑地帯の進捗状況について

(1) 3月議会の一般質問で、かなり前向きな答弁をいただいたが、その後の進捗状況をお聞きしたい。

2 津田恒美メモリアルスタジアム実現への進捗状況について

(1) 平成20年3月議会、平成23年12月議会の二度にわたり、一般質問で津田恒美メモリアルスタジアム実現への提案をしたが、その後の進捗状況は。

(2) 実現すれば全国へ発信できる野球場になると確信するが、発信の仕方や野球大会の開催等の戦略は考えているのか。

3 （仮称）学び・交流プラザについて

(1) 昨年6月議会で、現有の機能と広さは確保すると答弁いただいたが再度確認する。

(2) その他問題点はないか確認する。

4 スズメバチ駆除への対策、対応は

(1) 全国各地で死亡も含め毎年多くの被害者が出ている。かなりの自治体でハチの巣駆除に取り組んでいるが、周南市はどう対応しているのか。

18 中村富美子

1 乳幼児医療費助成制度の拡充について

(1) 3歳からの通院治療に対する所得制限を撤廃し、就学前までのすべての子供が対象となるよう、拡充できないか。

(2) 入院については、小学生以上高校生まで助成できないか。

2 北部に子育て支援センターを

(1) 育児不安などの相談援助等を行う「地域子育て支援拠点事業」として、子育て支援センターがある。北部に開設してほしいという要望がある。開設できないか。

3 住宅リフォーム助成制度の継続を

(1) 2月15日から受け付けを始めたこの制度は、3,000万円の予算が3カ月足らずでなくなった。どう評価しているか。

(2) 好評を博したこの制度の継続が必要である。増額補正の準備をすべきではないか。

4 湯野小学校区に児童クラブを

(1) 周南市では24カ所で児童クラブが実施されている。戸田小や夜市小では実施されているが湯野小校区にはない。日本共産党のアンケートに整備をしてほしいと要望が上がっている。

ア アンケートを行いたいとのことであったが、どこまで進んでいるか。

イ 設置場所が問題となっていると聞くがどうか。

19 長谷川和美（周南会）

1 （仮称）熊毛学校給食センターは安心安全か

(1) 計画の進捗状況は。

(2) 食の安心安全は。

- ア 前日調理等のチェック体制は。
 - イ 委託の方向性と課題は。
 - ウ 食材に地産地消は生かせるか。
- (3) 環境の安心安全は。
- ア 水の問題はどうなるのか。
 - イ 廃水処理は。
 - ウ 残菜処理は。
- (4) 周南市学校給食センター建設基本計画（平成20年7月）の今後の方向性は。
- ア さらなる計画変更はあるのか。
 - イ 財源として合併特例債の利用状況は。
 - ウ 全センターの民営化の方向性は。

2 (仮称) 学び・交流プラザの方向性は

- (1) 市民及び図書館利用団体の意見聴取は、どう設計に反映したのか。
- (2) 現在の図書館機能をすべて担保し、独立性の確保はできたのか。

20 吉平龍司（公明党）

1 防災・減災・備災による災害に強いまちづくりについて

- (1) 公共施設の老朽化・耐震化対策について伺う。
 - ア 市有の建築施設・道路や橋梁・上下水道の管渠等の現状と課題は。
 - イ 「耐震改修促進計画」における公共施設等の耐震診断や改修実施による市の耐震化進捗率は。
 - ウ 老朽化・耐震の改修、維持修繕に向けて、施設の全庁一括データ管理に向けての「(仮称) 公共施設マネジメント計画」等の取り組みは考えられないか。
- (2) 豪雨への備えについて伺う。
 - ア 市内全域における浸水被害地域と早期対策へ浸水対策計画の取り組みや浸水対策アクションプログラム策定の検討など、中長期的な雨水浸水対策が考えられないか。
 - イ 家庭などへの雨水貯留タンクなどの設置促進を浸水対策として一考されては。
- (3) 市の地域防災計画などに女性の視点、女性職員などの幅広い意見の取り込みは。

2 周南緑地公園について

- (1) 交通教育センターについて伺う。
 - ア 利用者拡大と施設のリニューアルや親しまれる施設名称の公募など、これまで提案してきたが、具体的な取り組みは。
 - イ 既存施設内の自転車が老朽化していることから、センター利用者の声で、不用になった自転車を寄贈したいとの申し入れがあった場合、受け入れは考えられるか。
- (2) キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターについて伺う。
 - ア 赤ちゃんの駅の利用促進のためのPRを工夫したらどうか。
- (3) 緑地園内の野犬対策について伺う。

3 文化会館の駐車場について

- (1) 動物園、美術博物館も含めた来客者と駐車場の利用者は関連すると思われるが、3施設の集客規模を考えた場合、駐車場は足りているのか。

- (2) 施設の性格や利用時間帯の実態を考慮し、駐車場が確保できるよう施設間相互で調整・連携する計画はあるのか。
-

2 1 中津井求（新誠会）

1 熊毛総合支所管内の事業予定について

- (1) まちづくり総合計画における地域の活性化対策の進捗状況は。
- ア 高水近隣公園
 - イ 学校給食センター建設
 - ウ 上水道基盤整備
 - エ 下水道基盤整備
 - オ 三丘地区基盤整備

2 八代地域の高齢者福祉について

- (1) 八代地域の現状は。
- ア 人口
 - イ 平均年齢
 - ウ 性別
 - エ 65歳以上人数
 - オ 独居者と性別
- (2) 生活交通の確保はどのようになっているか。
- ア 定期バスの時間帯
 - イ スクールバスの運行状況
 - ウ その他の交通手段
- (3) 日常生活の中に高齢者が生活していく上で買い物や、医療機関に診療に行くことになり、交通に高額がかかっているがその対策は。
- ア 鹿野地区や和田地区の実情はどのようになっているのか。
 - イ 八代地域で何か方策はないのか。
-

2 2 島津幸男

1 行財政改革について

- (1) 今後10年間に予想される主なる新規事業について
- ア 具体例とその支出額は。
 - イ 市役所建てかえについて住民投票の導入は。
- (2) 「入るをはかりて出るを制す」改善案の提案について
- ア 選挙手当の見直しは。
 - イ ネーミングライツ（命名権）の活用は。
 - ウ 防災行政無線施設整備工事の保証金請求は。

2 危機管理について

- (1) 危機管理に対する市長の基本的考え方と具体的行動実績は。
- (2) 情報公開の実態と経年比較は。
-